

臼杵市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)

(第4期特定健康診査等実施計画)令和6年度～令和11年度【概要版】

基本的事項

(1)背景・目的

臼杵市においては、特定健康診査等実施計画と保健事業実施計画(データヘルス計画)の二つの計画を両輪として保健事業を実施してきましたが、このたびのデータヘルス計画の改定に当たり、国指針に基づき、両計画の連携を強化し、保健事業の実施及び評価、事業内容の見直しを行ない、保健事業の実効性をより高めていくために、一体的な計画として「第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)」を策定しました。

(2)計画の位置付けと基本的な考え方

第3期保健事業の実施計画(データヘルス計画)とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者等が効果的かつ効率的な保健事業を図るため、特定健診の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCA サイクルに沿って運用するものです。

臼杵市では、国保データベース(KDB)を活用・分析を行い、優先的に取り組むべき健康課題を抽出した上で、生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組み、国保加入者の健康保持増進を図ることで、健康寿命の延伸、ひいては医療費適正化を目指します。

第2期計画にかかる考察

		臼杵市	
		H30年度	R04年度
総医療費(円)		41億9004万円	39億6217万円
中長期目標疾患 医療費合計(円)		3億7394万円 8.92%	2億4690万円 6.23% ↓
中長期目標疾患	脳	脳梗塞・脳出血	2.97% → 1.25% ↓
	心	狭心症・心筋梗塞	1.61% → 1.74% ↑
	腎	慢性腎不全(透析有)	4.01% → 2.93% ↓
		慢性腎不全(透析無)	0.34% → 0.31% ↓
その他の疾患	悪性新生物		12.59% → 16.19% ↑
	筋・骨疾患		9.80% → 7.72% ↓
	精神疾患		10.13% → 8.36% ↓

第2期計画において、中長期目標疾患である脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の3疾患に重点を置いて、臼杵市糖尿病等生活習慣病対策ネットワーク推進会議を軸に、医師会等と連携しながら、重症化予防に積極的に取り組んできました。

その結果、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の総医療費に占める医療費合計の割合が減少しており、高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム等の重症化予防を中心とした保健指導を実践した結果が出てきました。しかし、虚血性心疾患の割合が下がっていません。

第3期計画における健康課題の明確化

図1 健診有所見状況

年度	体格(健診結果)			Ⅱ度高血圧以上 (未治療・治療中断者)									HbA1c7.0以上 (未治療・治療中断者) ※後期高齢者は8.0以上								
	BMI25以上			40-64			65-74			75-			40-64			65-74			75-		
	40-64	65-74	75-	人	%	(人)	人	%	(人)	人	%	(人)	人	%	(人)	人	%	(人)	人	%	(人)
H30	31.0	28.4	26.5	31	3.8	(8)	106	4.7	(34)	106	6.3	(22)	29	3.5	(1)	96	4.3	(8)	14	0.8	(0)
R04	31.8	29.3	26.4	33	4.6	(18)	110	5.0	(20)	125	6.4	(23)	20	2.8	(2)	130	5.9	(4)	12	0.6	(0)

健診状況を H30 年度と R4 年度の結果を各年度で分析すると、健診有所見者状況においては BMI25 以上Ⅱ度高血圧以上は各年代で、HbA1c7.0 以上は 65～74歳で対象人数が増えており、内服だけの改善は難しいことから、生活実態(生活リズムや食環境)に合わせた保健指導が求められます。(図1)

図2 短期目標疾患(高血圧・糖尿病)と合併症の状況

年度	短期目標の疾患 (生活習慣病受診者のうち)									短期目標の疾患とする 合併症					
	高血圧			糖尿病			C' 糖尿病+高血圧			高血圧 +合併症			糖尿病 +合併症		
	40-64	65-74	75-	40-64	65-74	75-	40-64	65-74	75-	40-64	65-74	75-	40-64	65-74	75-
H30	68.6	77.8	85.9	46.3	43.8	35.1	27.1	30.4	29.1	46.2	49.7	71.6	49.7	53.3	75.0
R04	70.4	80.0	87.1	48.1	45.9	38.5	29.2	33.7	32.7	45.3	57.0	72.3	47.9	67.4	77.1

短期目標疾患である高血圧・糖尿病の医療状況を H30 年度と R4 年度の各年度で分析すると、高血圧、糖尿病、糖尿病+高血圧の割合が各年代で高くなっており、また、合併症(脳血管性疾患)などを併せもつ方が高血圧、糖尿病ともに、65歳以上で高くなっています。(図2)

図3 中長期目標疾患の状況

年度	中長期目標の疾患(被保数割)											
	脳血管疾患			虚血性心疾患			心不全			腎不全		
	40-64	65-74	75-	40-64	65-74	75-	40-64	65-74	75-	40-64	65-74	75-
H30	4.9	12.3	27.2	4.3	11.8	25.6	7.3	14.5	33.8	7.0	11.7	21.3
R04	5.2	15.0	26.8	3.9	13.3	23.5	6.3	17.1	33.6	7.1	18.2	24.5

中長期目標疾患である脳血管疾患・虚血性心疾患・心不全・腎不全の医療状況を H30 年度と R4 年度の各年度で分析すると、65～74歳はすべての疾患で対象割合が増えており、依然として重症化予防、再発予防が課題であることが分かります。(図3)

中長期目標疾患(脳血管疾患・虚血性心疾患・腎不全)に共通した**高血圧、糖尿病等**に重なりがあります。**高血圧や糖尿病等の早期受診勧奨や治療中断を防ぐ保健指導を継続**していくことが、**脳血管疾患・虚血性心疾患等への重症化を防ぐ**ことにつながります。

第4期特定健康診査等実施計画

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定健診受診率	49.6%	50.0%	50.4%	50.8%	51.2%	51.6%以上
特定保健指導実施率	79.0%	80.0%	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%以上

特定健診受診率向上に向け、継続受診者への「とくとく健診(無料人間ドック等)」を実施し、若年者の受診率向上のため Web 予約の体制整備を行います。

第3期データヘルス計画の目標設定

1. 中長期的目標

脳血管疾患・虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制

2. 短期的目標

中長期目標疾患の発症を予防するために、高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす

第3期データヘルス計画目標管理一覧

★すべての都道府県で設定することが望ましい指標

関連計画	達成すべき目的	課題を解決するための目標	実績			データの把握方法
			初期値 R 6	中間 評価 R 8	最終 評価 R 11	
			(R4)	(R7)	(R10)	
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患・虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	1.25%	減少傾向へ	KDBシステム
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	1.74%		
			慢性腎不全(透析あり)総医療費に占める割合の減少	2.93%		
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少	53.8%		
			糖尿病性腎症による新規透析導入者の割合の維持	0		
			臼杵市調べ			
	短期目標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム・予備群の減少率	28.1%	減少傾向へ	KDBシステム
			健診受診者の高血圧者の割合減少(160/100以上)	5.0%		
			健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL160以上)	9.4%		
			健診受診者の血糖異常者の割合の減少(HbA1C6.5%以上)	12.5%		
			★健診受診者のHbA1C8.0%以上の者の割合の減少	0.7%		
			糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合	75.0%	増加傾向へ	
アウトプット	特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少	★特定健診受診率向上(R10年度目標:51.2%)	48.8%	50.0%	51.2%	法定報告値
		★特定保健指導実施率向上(R10年度目標:83.0%)	77.0%	80.0%	83.0%	
		★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	20.7%	減少傾向へ		

個別保健事業の内容

保健事業の実施にあたっては脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症における共通のリスクとなる高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム等の減少を目指すために、特定健診における血圧、血糖、脂質の有所見率を改善していくため重症化の取組を各学会ガイドライン等に基づき実施します。

なお対象者には、未治療や治療中断、治療中コントロール不良者もいることから、臼杵市糖尿病等生活習慣病対策ネットワーク推進会議を通じて、医療機関と連携した保健指導を実施していきます。

1. 虚血性心疾患重症化予防
 - ① 受診勧奨及び保健指導
 - ② 二次健診の実施：頸動脈エコー検査の実施
 - ③ 心電図要精査者の対象者管理

2. 脳血管性疾患重症化予防
 - ① 受診勧奨及び保健指導
 - ② 二次健診の実施：頸動脈エコー検査の実施
 - ③ 高血圧者・心房細動有所見者の対象者管理

3. 糖尿病性腎症重症化予防
 - ① 糖尿病性腎症病期及び生活習慣病リスクに応じた保健指導
 - ② 二次健診の実施：糖負荷検査・尿中アルブミン検査

4. 肥満・メタボリックシンドローム重症化予防
 - ① 保健指導の実施
 - ② メタボリックシンドローム該当者の対象者管理

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

後期高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を図っていくためには、生活習慣病等の重症化を予防する取り組みと、生活機能の低下を防止する取り組みを一体的に実施する必要があります。後期高齢者医療の保健事業と介護予防の一体的実施を進める必要があります。

■発行 令和6年3月

■発行・編集 大分県臼杵市保険健康課